

# 東北大学経済学部 理系入試



東北大学経済学部

Faculty of Economics, Tohoku University

3回（AOⅢ期・一般選抜前期・後期）の理系入試のチャンス

日本の経済学部で唯一 完全理系型の入試科目

新たな社会Society5.0を先導するエコノミストを育成

Faculty of Economics

# 理系入試

東北大学経済学部では、従来の文系型入試に加え、理系入試を設けています。理系入試では、基本的に東北大学の理系学部と同じ試験問題を用います。

**背景>>** ビッグデータ等の活用が新たな価値を創り出す現代社会では、数理的分析の方法を修得した人材の重要性が増々高まっています。そのため、経済学部等の文系学部で学ぶ人間・社会に関する知識に加えて、数学など理系の知識も併せ持つ経済の専門家が求められるようになっていきます。

## 募集人員>>

	AO入試Ⅲ期	一般選抜前期	一般選抜後期
従来型（文系）	58	147	25
理系入試	10	10	10

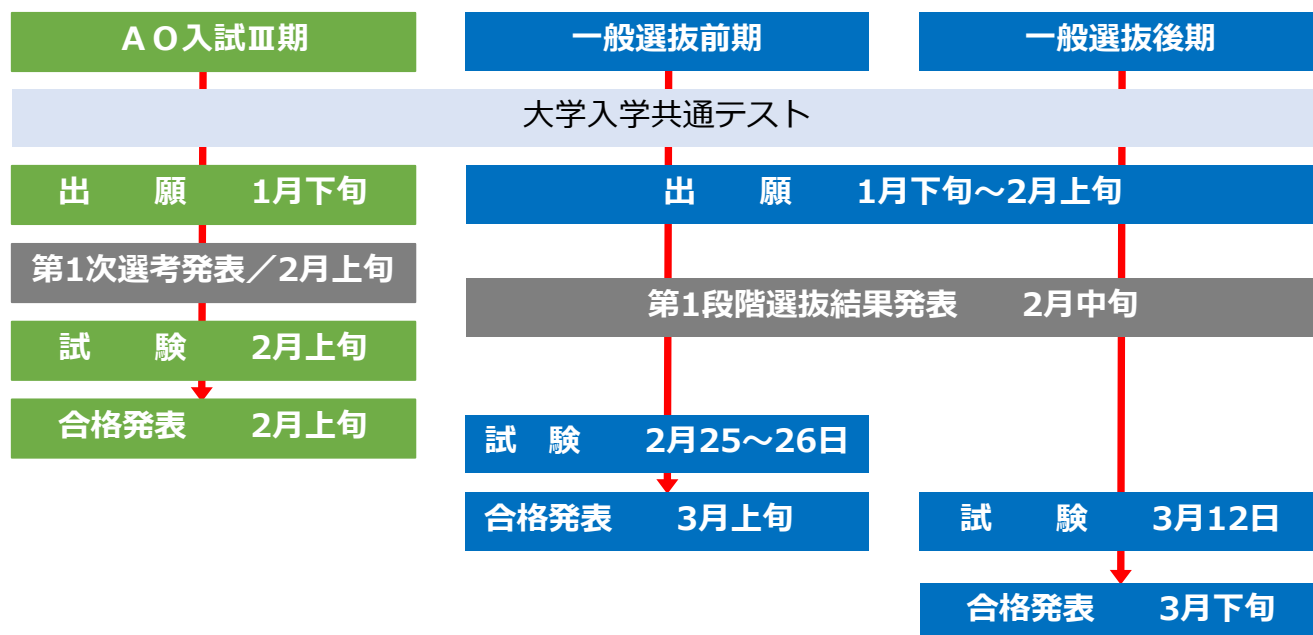
※1 理系入試は一般選抜（前期日程・後期日程）、AO入試Ⅲ期のいずれでも受験可能です。  
※2 AOⅢ期出願にあたっては、「数学Ⅲ」（理数科は、理数数学Ⅱ及び理数数学特論）を履修している必要があります。

## 入試科目>>

	AO入試Ⅲ期	一般選抜前期	一般選抜後期
理系入試	大学入学共通テスト + 面接	大学入学共通テスト + 英語・数学・ 理科（2科目）	大学入学共通テスト + 数学・面接

理系入試では、大学入学共通テストの指定科目も他の理系学部と同様に地歴・公民（4単位科目）1科目、理科（基礎なし科目）2科目となります。

## 入学者選抜日程 >>



# 教育プログラム・ キャリアパス

東北大学経済学部という選択肢には  
**理工系学部とは異なる独自の強み**が  
あります

## Advantage1>>

**5年で修士号**が取得可能なプログラム

### 【学部・大学院一貫教育プログラム】

東北大学経済学部では**学部4年+修士1年の5年**で修士号取得  
が可能な4つの一貫プログラムを用意しています

データ科学

日本の経済・経営

高齢社会の地域経済政策

高度グローバル人材コース

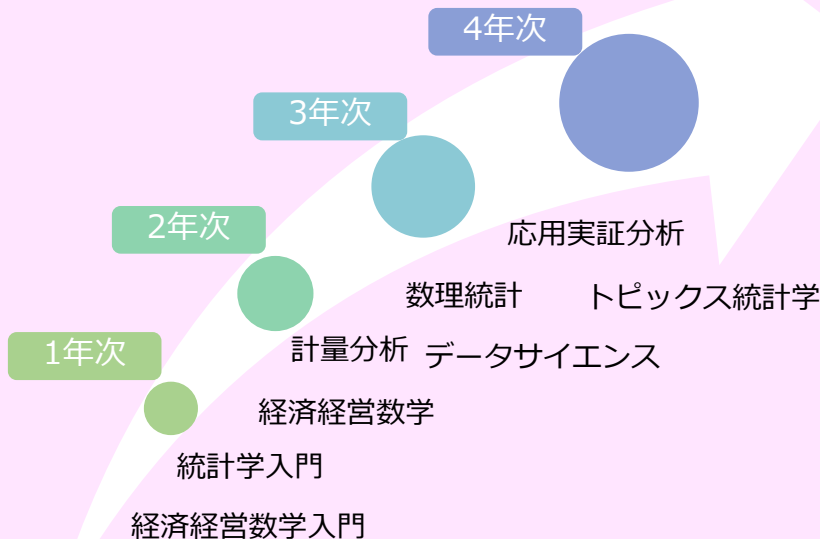
## Advantage2>>

**ビジネス力**を備えた**データサイエンティスト**の養成

- 現代社会では、**文系・理系の知識**をともに備えたIT人材が求められています
- **データを分析してビジネスに役立てるアナリスト、コンサルタント、マーケター**などの活躍の場が広がっています

## 経済学・経営学の知識を修得

経済学、経営学、会計学、統計学、経済史



## Society 5.0※で 活躍できる人材



### 修士課程

統計・計量分析特別演習  
データ科学特別演習  
中級計量経済学特論  
上級計量経済学特論  
Applied Data Sciences

## 理系の知識を活用

※理系入試による入学者向けに、一部科目を早い年次から履修できるようにしています

### ※Society 5.0 (ソサエティ5.0)

IoT、ロボット、AI、ビッグデータなどの新たな技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れてイノベーションを創出し、一人ひとりのニーズに合わせて社会的課題を解決していく新たな社会のことで、政府が推進する科学技術政策のひとつ。狩猟社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会 (Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) に続く新たな社会。



学部長  
守 健二

東北大学経済学部では、全国に先駆けて完全理系型の理系入試を導入し、IT（情報技術）・AI（人工知能）社会で活躍できるデータ・サイエンティストや経済経営のエキスパートの養成に力を入れています。

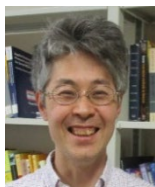
「第4次産業革命」と言われるように、デジタル技術が社会を未曾有のスピードで変化させています。技術を正しい方向に導くためには、技術に使われるのではなく、それを自由自在に使いこなす技能が必要であることは言うまでもありません。インターネットで誰でも得られる知識やAIで代用できる計算力ではもはや十分ではありません。人間や社会に対する幅広く長期的な洞察力、それに裏付けられた普遍的な価値判断が求められます。経済学・経営学という「文理融合」に相応しい学問を通して、IT・AI社会のその先を見通すナビゲーターたちを私たちは育成していきます。

## 数理・データサイエンス教育×あなたの可能性＝未来社会を拓く



計量分析担当  
松田 安昌 教授  
(理学部数学科出身)

私は数学科の出身で、確率論や統計学の数学理論を理論で終わらせず、社会や人々の生活に応用し社会の向上に役立てるための研究をしています。経済学はサイエンスの理論や方法を人間生活の向上に応用して活かすことができます。科学に興味を持つ皆さんと経済学部で学ぶことを楽しみにしています。



証券投資論担当  
室井 芳史 教授  
(理学部数学科出身)

銀行など金融機関のリスク管理において高度な数学が用いられるようになりました。株価のようなランダムで「ぎざぎざ」と動く現象に用いる数学と、その金融への応用を研究しています。ゼミの学生も確率論の勉強をしており、これらの数学を多用する金融実務に携わる卒業生もいます。



経営統計学担当  
石垣 司 准教授  
(工学部システム制御工学科出身)

ビジネス、製造業、医療等に関するデータ科学の教育・研究をしています。多種多様なデータを実社会の中で価値あるものに錬金するためには、経済・経営に関する知識に加えて、高い数学的素養が必要です。一緒にデータ活用のスペシャリストを目指しましょう。



東北大学 経済学部 / 東北大学大学院経済学研究科

〒980-8576 仙台市青葉区川内27番1号 東北大学経済学研究科

TEL : 022-795-6265 (教務係)

URL : <https://www.econ.tohoku.ac.jp/>

